

## お知らせ コーナー センター主催講座のお知らせ

※主催講座については、新型コロナ感染拡大防止の観点から、開催日時や内容等変更する場合があります。

### NPOの事業計画と予算講座

年度初めに事業計画を立ててはいるけれど、なんのために作るのか、どこまで正確に実施するのか、予算ってどうやって見積もるのか…答えがハッキリしないアレコレのガイドラインについてお答えします。

【日 時】令和2年6月6日(土)  
10:00～12:00

【会 場】コムズ3階会議室3  
(松山市三番町6丁目)

【対 象】主に団体の事業計画、  
予算作成に関わる理事  
・事務局関係者

【定 員】15名



◆申込フォーム



### NPO会計講座

NPOやNPO法人の運営において必須となる決算手続き。その準備としての日々の会計処理。一連の流れの基礎的知識からちょっとしたコツまで、実践的な演習を交えてお教えします。

【日 時】令和2年6月20日(土)  
13:30～15:30

【会 場】コムズ3階会議室2  
(松山市三番町6丁目)

【対 象】自団体の運営において、  
活動計画書・決算書を  
担当する会員や職員、  
NPOの設立を検討  
されている方

【定 員】30名



◆申込フォーム



## お知らせ コーナー 内閣府NPOホームページ 新型コロナウイルス感染拡大に係るNPO法Q & A

(内閣府NPOホームページ 新型コロナウイルス感染拡大に係るNPO法Q & Aより <https://www.npo-homepage.go.jp/>)

**Q1. 新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、社員総会が開催しづらい状況です。社員総会の開催を省略することはできますか。また、WEBやネットワーク経由で社員総会を開催、決議してもよいですか。**

**A1** NPO法人は、毎年1回必ず社員総会を開催することが義務づけられていますので、社員総会の開催を省略することはできません。この法律では「社員総会の決議の省略」(法第14条の9)を定めており、書面と電磁的記録による社員総会の開催や「持ち回り決議」も制度上可能とされています。

また、社員が実際に集まらずとも、様々な新たなIT・ネットワーク技術を活用することによって、実際上の会議と同等の環境が整備されるのであれば、社員総会を開催したものと認められます。その場合、役員のみならず、社員も発言したいときは自由に発言できるようなマイクが準備され、その発言を他者や他の会場にも即時に伝えることができるような情報伝達の双方向性、即時性のある設備・環境が整っていることが必要です。(出典:「解説特定非営利活動法人制度(平成25年5月)」P51～52)左記を御参考にしていただき、社員総会について、柔軟な方法による開催を御検討ください。※詳細は、内閣府NPOホームページをご覧ください。

サポセンだよりに関するお問い合わせは、まつやまNPOサポートセンターまで。

## まつやまNPOサポートセンター

〒790-0003 松山市三番町6丁目4-20 コムズ内

**Tel 089-943-5790**

**Fax 089-943-5796**

**Email** [pico@npo.coms.or.jp](mailto:pico@npo.coms.or.jp)

**HP** <http://www.npo.coms.or.jp/>

**Blog** <http://blog.canpan.info/saposen/>

**受付時間** 平日 9:00～18:00 日祝 9:00～17:30

**休館日** 毎週月曜日(祝日の場合はその翌日) 年末年始(12月29日～1月3日)



## まつやまNPOサポートセンター 情報誌

# サポセンだより



松山市NPO交流会  
～NPOの想いを届けるために～

**2P 特集 感染が広がらないために～感染症対策基礎知識～**

感染症とは、対策で気を付けることなど

**4P 報告 松山市市民活動推進補助金採択団体イベント報告**

まちづくり協議会イベント報告&お知らせ

**5P 報告 松山市NPO交流会の開催**

**6P 報告 第2回中予圏域研修会の開催**

愛媛県教育委員会主催研修会での事例発表

**7P お知らせ 松山市まちづくり推進課からのお知らせ**

松山市市民活動推進事業表彰式開催、松山市市民活動推進基金寄付者掲載

**8P お知らせコーナー センター主催講座のお知らせなど**

2020  
**春号**



## 特集 感染が広がらないために～感染症対策の基礎知識～

感染症とは、大気、水、土、動物（人も含む）など身の周りの環境に存在する病原体が、人の体内に侵入することでおきる疾患のことです。代表的な感染症に風邪、冬大流行するインフルエンザ、季節性が無くなりつつある感染性胃腸炎などがあります。また、昨今では、新型コロナウイルス（COVID-19）が中国で発見され、世界中で感染者が増加し、対応に苦慮している状況があります。私たちは、これらの感染症にどのような対策をすれば、安心して生活を送ることができるのでしょうか？

### ① 敵（感染原因）を知る

まずは、目に見えない病原体や寄生虫などが、どこから（感染源）、どのように侵入するのか（感染経路）を知ることが大切です。感染症の主な原因は、以下の3種類であると言われています。3種類の大きさは、以下の通りで、マスクの目の大きさ（5μm程度、1μm=0.001mm）より小さい種類は、マスクでは防ぎきれないことがわかります。※μm=マイクロメートル

#### ▼ ウィルス 0.02～0.1μm



ウィルスは、病原体の中でも非常に小さく、自分で細胞を持ちません。人の体にウィルスが侵入すると、人の細胞の中で自分のコピーを増やし、細胞を破裂させ、飛び出したウィルスがほかの細胞に入りこむことを繰り返し、増殖していきます。

一例）コロナウィルス、インフルエンザウィルス、ノロウィルス、H1N1

#### ▼ 細菌 1μm



細菌は、目で見ることにはできない小さな生物です。一つの細胞しかないので単細胞生物と呼ばれます。体内で定着して細胞分裂で自己増殖しながら、人の細胞に侵入するか、毒素を出して細胞を傷害します。

一例）ブドウ球菌、大腸菌、結核菌、コレラ菌、サルモネラ菌

#### ▼ 寄生虫 0.01μm～100μm



寄生虫は、人や動物の表面や体内にとりついて（寄生して）栄養をとる生物のことです。寄生される人や動物を宿主といい、寄生虫は宿主なしでは生きていけません。

一例）アニサキス、マラリア、回虫、エキノコックス、ダニ、ノミ

### ② 敵（感染源）の侵入方法

感染源の主な侵入方法（感染方法・経路）は、感染源との接触方法で以下の4種類に分類されています。

#### 感染経路

NO	種類	詳細
1	飛沫感染	ウィルスや細菌が咳、くしゃみなどにより、細かい唾液や気道分泌物につつまれて空気中に飛び出し、約1mの範囲の人に感染させること。
2	経口感染	ウィルス、細菌や寄生虫に汚染された食品や汚染物（糞便等）を食べたり飲んだりした場合に感染すること。
3	接触感染	皮膚や粘膜の直接的な接触、その他手すりやタオルなどの物体の表面を介しての間接的な接触により、病原体が付着することで感染すること。
4	空気感染	病原体が空気中を漂い、離れた場所にいる人がこれを吸い込むことによって感染すること。

## お知らせ 松山市まちづくり推進課からのお知らせ

### 松山市市民活動推進事業表彰式を実施しました

2月12日に松山市役所にて優れた市民活動を行った団体に、表彰状を授与しました。また、平成31年1月～令和元年12月の間に、市民活動推進基金に高額又は多年のご寄付をいただいた方に、感謝状を贈呈しました。

#### 市民活動団体に対する表彰部門（敬称略）

##### ● 葉佐池くらぶ

#### 市民活動推進基金への寄付者部門（50音順・敬称略）

##### ● 高額寄付者

- 株式会社 伊予銀行
- 株式会社 愛媛銀行
- 愛媛シールド工業株式会社
- 愛媛信用金庫
- 愛媛パッケージ株式会社
- 株式会社 オスティナートハウジング愛媛
- 株式会社 フジ
- 公益社団法人 松山法人会
- 医療法人 山中内科・消化器内科クリニック

※他匿名の1団体

##### ● 多年寄付者

- 有限会社 一成産業
- 株式会社 伊予鉄グループ
- 愛媛県パン協同組合
- 株式会社 えひめりビング新聞社
- 株式会社 エム・ワイ・ティ
- 株式会社 オオハラ
- 唐崎 秀樹
- 四国ガス株式会社 松山支店
- 株式会社 日本キャリア工業
- 福本建設 株式会社
- 松山電設工業 株式会社
- みずほ証券株式会社 松山支店



### 令和元年（平成31年）松山市市民活動推進基金に寄付をいただいた皆様

松山市市民活動推進基金にご寄付をありがとうございました。おかげさまで、平成31年1月から令和元年12月までの寄付合計額は、3,723,517円となりました。いただきました寄付金は、公益的な活動を行うNPOの活動に活用させていただきます。寄付をいただいた場合、税制上の優遇措置も設けております。随時、寄付金を受付していますので、ご協力よろしくお願いします。

#### 寄付をいただいた企業・団体・個人（寄付受付順、敬称略）

唐崎 秀樹、三浦工業株式会社、四国ガス株式会社松山支店、株式会社 岩本商会、帝人株式会社松山事業所、医療法人かわさき眼科、株式会社 二神組、株式会社 伊予産業、オクトハウス株式会社、エネロ株式会社、上田消防建設株式会社 松山支店、株式会社 電創エンジニアリング、医療法人 結和会 松山西病院、医療法人 山中内科・消化器内科クリニック、株式会社 鶴居商店、株式会社 フジ、有限会社 一成産業、日新化学工業株式会社、松山電設工業株式会社、公益社団法人 松山法人会、株式会社 四葉、松山容器株式会社、株式会社 日本キャリア工業、越智会計コンサルティング株式会社、ANAクラウンプラザホテル松山、株式会社 ビルド商会、株式会社 森熊、株式会社 大創住建、愛媛県パン協同組合、株式会社 堀切産業、株式会社 シャープ松山オーエー、水口酒造株式会社、株式会社 山装、M.G.Mストーン株式会社、医療法人 社団 久野内科、公益社団法人 愛媛県看護協会、愛媛シールド工業株式会社、株式会社 福崎組、マルマストリグ株式会社 松山本社、株式会社 アースコンサルタント、大進建設株式会社、中川動物病院、愛媛信用金庫、松山青果株式会社、東昇技建株式会社、垂水歯科医院、ミセスホーム株式会社、三森建設株式会社、有限会社 未来プランニング、有限会社 クリーン・メンテナンス・エッセツ、福本建設株式会社、株式会社 エム・ワイ・ティ、愛媛建物株式会社、株式会社 伊予鉄グループ、愛媛県土地家屋調査士会、重松兄弟設備株式会社、株式会社 富士原冷機、渡部工業株式会社、株式会社 シンツ 松山本社、株式会社 アート工務社、愛媛トヨペット株式会社、株式会社 加藤興業、南海測量設計株式会社、オオノ開発株式会社、道後平野土地改良区、医療法人 社団 慈生会 松山城東病院、有限会社 愛媛ビルカン整備、平成住宅産業株式会社、株式会社 伊予銀行、株式会社 協和産業、みずほ証券株式会社 松山支店、株式会社 森田、愛媛パッケージ株式会社、株式会社 クロス・サービス、株式会社 オスティナートハウジング愛媛、株式会社 オオハラ、瀬戸内ライン工業株式会社、株式会社 伊予鉄高島屋、株式会社 愛媛銀行、成瀬緑化産業株式会社、株式会社 梶村造園、大成海運株式会社 松山営業部、株式会社 親和技術コンサルタント、株式会社 坂本重機建設、松山市農業協同組合、医療法人 順風会、学校法人 松山学園、認定特定非営利活動法人 アクティブボランティア二十一、株式会社 えひめりビング新聞社、セキ株式会社、医療法人 菅井内科、株式会社 松山ロジック、株式会社 丸源ガス、株式会社 シンデン、四国労働金庫愛媛支店、株式会社 ケイ・アール総合企画、株式会社 みのり商会

※その他、匿名の9の企業・個人の方々

### 4月から松山市の市民活動を担当する課が新しくなります！

令和2年4月1日付の組織改正で、NPO団体等への支援など、市民活動に関する業務を「市民部市民参画まちづくり課」から「坂の上の雲まちづくり部まちづくり推進課」が担当することになりました。

まちづくり推進課（市役所本館6階）

TEL:089-948-6330 FAX:089-934-1821 E-mail:matsuyamashi-npo@city.matsuyama.ehime.jp



## 報告 愛媛県地域協働ネットワーク構築支援事業 第2回中予圏域研修会を開催しました

2月11日に愛媛県地域協働ネットワーク構築支援事業の第2回中予圏域研修会を開催し、行政、社会福祉協議会、NPO団体から約35名参加されました。



今年度、愛媛県から委託を受け、NPOや各団体、企業など多様な主体が連携して、平時から顔の見える関係をつくり、様々な地域課題に対応できるよう、「災害時に備えた支援受援の仕組みづくり」をテーマに2回の研修会を開催しました。2回目の研修会では、第1回目に参加者の皆様から頂いた支援、受援のご意見を被災から生活再建の各フェーズにおいて、どのように関わることができるか考える機会を設けました。

まず、愛媛県男女参画・県民協働課より、第1回目の支援受援の意見の振り返りがあり、カテゴリー別の受援ニーズの確認と対象者別の対応についての説明がありました。そして、宇和島NPOセンター「Carriage」松島センター長より、西日本豪雨災害時に実際に起こったことや支援、

配慮すべき事について、情報提供をして頂きました。次のワークショップでは、参加者が6つのグループに分かれ、「被災から避難」「避難所運営」「仮設住宅から生活再建」の3つのフェーズについて、一般及び要配慮者（子ども、女性、障がい者、高齢者）を対象とし、抽出した受援ニーズごとの支援のポイント（内容や方法）、主体となる組織、団体について意見を出し合いました。

第1回目に引き続き、コーディネーターとして、愛媛大学社会連携推進機構の前田眞教授、コメンテーターとして、宇和島NPOセンター「Carriage」松島陽子センター長にサポート頂きました。

全体を通して、各組織及び団体と繋がるための行動が今後非常に大切になることが課題であると感じました。色々な視点での意見が上がり、有意義な研修会となりました。



## 報告 土曜日・放課後等の豊かな教育活動推進研修会で発表しました



1月15日に愛媛県生涯学習センターで愛媛県教育委員会主催「土曜日・放課後等の豊かな教育活動推進研修会」に事例発表団体として参加しました。

この研修会は、えひめ学校教育サポーター企業による教育支援活動の紹介を通して、企業等関係者と教育関係者が連携し、社会総がかりで取り組む教育活動の充実を図り、企業等が互いの取組を知ることを通して、学習プログラムの充実につなげることを目的に昨年度から開催されています。

今年度は100を超える企業や団体が参加しました。センターの事例発表では、NPOの説明や学校への出前講座の取り組みをご紹介しました。他に21の参加企業・団体が持ち時間を活用して、各々の教育支援活動の紹介をしました。銀行や学校関係者からNPOのご質問があり、NPOのことを知っていただく、よい機会になりました。



## 3 感染症対策（感染を防ぐ方法）

感染症には、様々な原因があり、症状も様々あります。そこで、感染症対策には、「感染経路を遮断する」「人の抵抗力をあげる」「感染源を取り除く」などの方法があります。その中で、日ごろから取り組める感染症対策についてお伝えします。

### ▼ こまめな手洗い

病原体など、病気を引き起こす感染症の多くは、「手」を介して体内に侵入することが多いと言われています。

例えば、感染症の流行期には、ドアノブや電車のつり革など、様々な場所に病原体が付着しています。そういった場所を触った手で、自分の眼や鼻、口を触ったり、食事をしたりすることで、病原体が体内に侵入してくるのです。だから、様々な感染症から身を守るためには、手からの侵入を遮断する「手洗い」がとても大切になります。手洗いは、帰宅時や食事前だけでなく、電車のつり革や共有のパソコン、トイレのドアや会社の入り口など、不特定多数の人が触るようなものに触れた後にも可能な限り行うことが大切です。少し神経質に思われるかもしれませんが、感染予防のためには、頻繁に手洗いを行うことが何より大切なのです。



### ▼ ワクチン予防接種

毒性を弱めた病原体や毒素を、前もって投与しておくことにより、その病気に罹りにくくすることを予防接種といい、投与するものをワクチンといいます。ワクチンは、年齢や、その人がもっている免疫力、その年に流行するウイルスの種類など、さまざまな要素に影響されるため、効果は100%ではありませんが、「発症を抑える効果」「重症化を防ぐ効果」などがあるとされています。重症化しやすい子ども、高齢者の方は接種を検討したほうがいいかもしれません。



### ▼ 咳エチケット

咳やくしゃみの飛沫により感染する感染症は数多くあります。

「咳エチケット」は、これらの感染症を他人に感染させないために、個人が咳やくしゃみをする際に、マスクやティッシュ・ハンカチ、袖を使って、口や鼻をおさえることです。特に電車や職場、学校など人が集まるところで実践することが重要です。また、マスクをしておく、直接顔を触らずに済むので、接触感染などの対策をすることができます。



また、「感染症予防＝健康を維持する取組」となると考えられますので、バランスの良い食事、適度な運動、休養をとって、規則正しい生活を送ることも大切です。ぜひ日頃から感染症対策を意識していきましょう。

## 4 まとめ

- ① 感染症とは、身の周りにいる病原体が原因でおきる疾患のこと
- ② 感染症対策は、感染源、感染経路を知って、「こまめな手洗い」「予防接種」「マスクをする」などを行うこと
- ③ 日頃から食事、運動、休養など規則正しい生活をして体調を整えておくことも大切



## 報告 松山市市民活動推進補助金採択団体イベント報告!

松山市では、市民活動を推進するため、「松山市市民活動推進条例」に基づいて「松山市市民活動推進基金」を設置し、市民の皆様から寄せられた寄付金と同額の市費を合わせた基金を活用し、NPO団体の活動に対する助成を行っています。今年度、松山市補助金採択団体の活動の様子をご紹介します。

NPO おかねについて学ぶ会



マネー喫茶&ミニマネーセミナーを行いました。今回のテーマは「ストレスゼロの節約と片付け」、11名の参加者は女性が多く、若いお母さんが赤ちゃんを連れてきて、会場は明るく華やいだ雰囲気でした。お掃除や家計の見直しが精神的、金銭的にどんな効果があるのか丁寧に解説していました。

NPO法人NEXTCONEXION



愛光学園の高校1年生を対象とした主権者教育授業を行いました。大学生、松山市職員や一般企業の方が来られ、「税」「ゴミ問題」「車」等をテーマに講演をして、社会の仕組みについてみんなで考えました。生徒が熱心に聞いている姿に感動を覚えました。

松商地域ビジネス科2期生2019



将来、松山市の担い手となる子供たちに地元について知ってもらうことで、地元への愛着を持ってもらおうと、高校生と小学生と一緒に地図を見ながら観覧車に乗ったり、お買いものをしたりしました。小学生のパワーに圧倒されつつ、帰り際には、みんなの絆が深まり、よい体験ができたようです。

## 報告 まちづくり協議会イベント報告&まち協へのお知らせ

「まちづくり協議会」は、地域の各団体、NPO、企業等の多様な「市民」が集まるネットワーク型の住民自治組織です。地域課題の解決や魅力の創出のため、それぞれの地域特性にあったイベントを開催しており、その一部をご紹介します。

清水地区まちづくり協議会



11/30に「山内敏功氏講演会」を開催。地域住民約30名が参加され、山内氏によるブランディングデザイン事例などの講演のあと、清水地区の自慢できる点や問題点から地区の特徴を意識するワークショップが行われました。

三津浜地区まちづくり協議会



1/25に第27回三津の朝市の中で「三津浜検定」を開催。三津浜に関する問題を解くと、ガラポンでクリアファイルなどの景品をもらうことができ、多くの家族連れの方で賑わっていました。

八坂地区まちづくり協議会



2/27に「ふれあいカフェ5周年記念事業」を開催。作詞・作曲家の森草弦氏のコンサートのあと、みんなで演歌や歌謡曲などを歌いました。たくさんの方が来られ、みなさん雑談や歌を楽しんでいました。

### まち協へのお知らせ

センターロビー(松山市三番町六丁目、コムズ内)にまち協コーナーを新設!チラシや広報誌などの配置を希望するまち協の方は、事前にご連絡のうえ、センターまで持参、郵送などでお送りください。

## 報告 「NPOの想いを届けるために 松山市NPO交流会」開催!

2月22日(土)松山市男女共同参画推進センター・コムズ(松山市三番町)にて、松山市NPO交流会を開催しました。NPOの認知度向上と活性化及びNPOと市民相互の交流を深めるとともに、幅広い世代の市民活動への参加意欲の促進を目的とし、松山市のNPO法人有識者を中心としたパネルディスカッション、NPO関係者と市民を交えて、参加者約40名でのグループディスカッションを行いました。

### ▼ パネルディスカッション



パネルディスカッションでは、コーディネーター役に愛媛県法人会連合会の岩丸裕建氏、パネリストとして、NPO法人家族支援フォーラムの米田順哉氏、NPO法人えひめ311の澤上幸子氏、NPO法人NEXTCONEXIONの越智大貴氏、まつやまNPOサポートセンターの白石悟が登壇しました。

米田氏は、地域住民とイベントを通して積極的にかかわり、意見交換している事例を発表。澤上氏は、東日本大震災の避難者が愛媛で生活するための支援や松山市内での減災農園事業の事例を発表。越智氏は、中高生を



米田氏



澤上氏



越智氏



岩丸氏

白石

中心に主権者教育を行うため、愛媛大学の学生、地域企業、行政の協力を得ながら、出張講座の取組事例を発表。白石は、NPO中間支援を通し、地域に受け入れやすいよう工夫しなければならない事例等を発表。その後、パネリストの意見交換があり、岩丸氏は、NPOが地域の活動を続けていく上で、「協力し合えるネットワークを形成することが必須である」とまとめました。

### ▼ グループディスカッション

グループディスカッションでは、参加者は6グループに分かれ、ファシリテーターを中心に演題について、議論しました。

ファシリテーターからは、お金について考える活動、絵本のフリーペーパーを配布する活動、高校生の学び場を提供する活動を聞いて、以前は、NPOという認識がないジャンルだったが、話を聞くとこれも社会貢献活動だと感じ、そうした人たちが自分のことで、社会の役に立ちたいという思いを地域に繋げることが大切との意見があがりました。

イベントを通して、NPOが自分たちの想いを伝える努力を怠らずに、必要としている方たちや地域社会とつながり、協働することができるということを示せたのではないかと思います。

